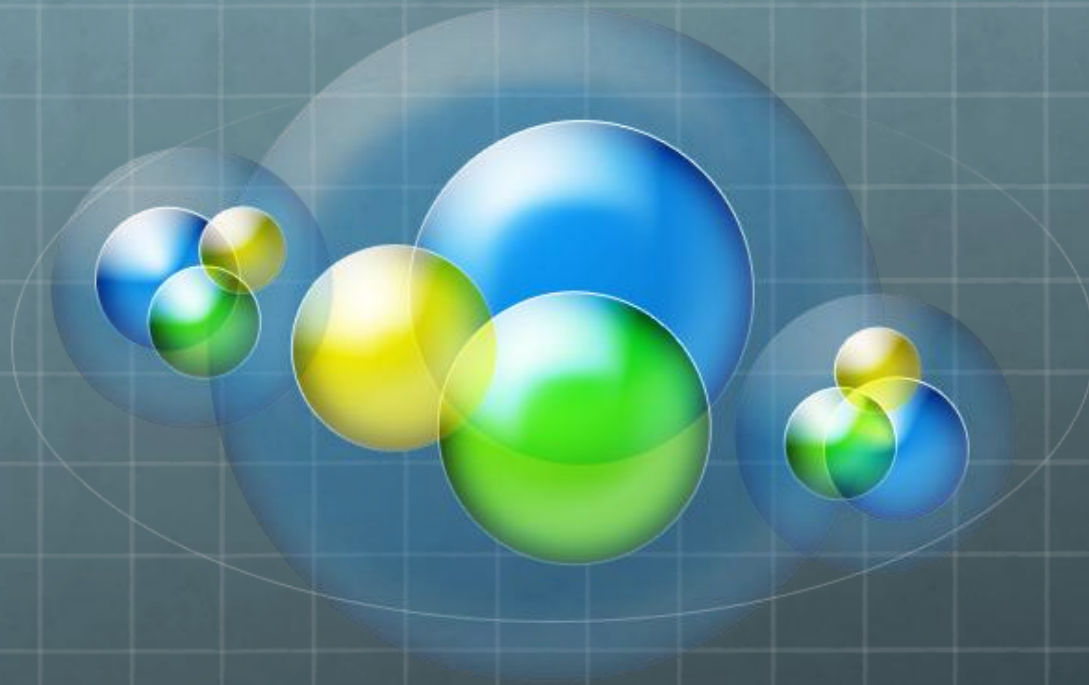




ARのビジネス展望

先端IT活用推進コンソーシアム
高木 英一

AR概要

- Augmented Realityの略
 - 「拡張現実感」の意味
- 一般的な定義
 - 現実の環境から知覚に与えられる情報に、コンピュータが作り出した情報を重ね合わせ、補足的な情報を与える技術
 - 「強化現実」とも言われている
- ARの研究は1967年頃から始まっている
 - 1990頃から本格化してきている
 - 軍事利用が多い(パイロットのヘルメットに装着するHMDなど)

AR表示デバイスの実例

🌐 NEC/ブラザー工業さんのテレスカウター

- 🌐 工場での指導
- 🌐 警備
- 🌐 翻訳



AR表示デバイスの実例

🌐 オリンパス/ドコモさんのARWalker (CEATEC2010展示)

- 🌐 ランニング時の情報
- 🌐 上を見れば天気情報
- 🌐 店舗を見れば
店舗情報表示



AR表示デバイスの実例

🌐 ニコンさんのメディアポート

- 🌐 映像と音声の一体型
- 🌐 エンターテイメントでの利用を想定



AR表示デバイスの実例

Recon Instrumentsのゴーグル

(CES2011展示)

● スポーツ想定
(各種アウトドア用途)

● 災害救助補助

● Android搭載
(各種センサ、3rdパーティアプリを想定)



AR表示デバイスの実例

-  新日鉄ソリューションズさんが、光学透過型ARメガネ（サングラス型）を開発

（2月23日発表）

<http://www.ns-sol.co.jp/press/2011/pdf/110223.pdf>

ARの実例<ソリューション>

セカイカメラ

頓智ドットさんによるスマートフォンARアプリ

 エアタグと言われる情報をスマートフォンのカメラ映像に合わせて表示

 エアタグとして以下の情報を登録・表示

 不動産情報

 店舗情報

 イベント情報

→エアタグ情報のコンテンツビジネスへ

ARの実例<ソリューション>

🌐 KDDIさんの実空間透視ケータイ



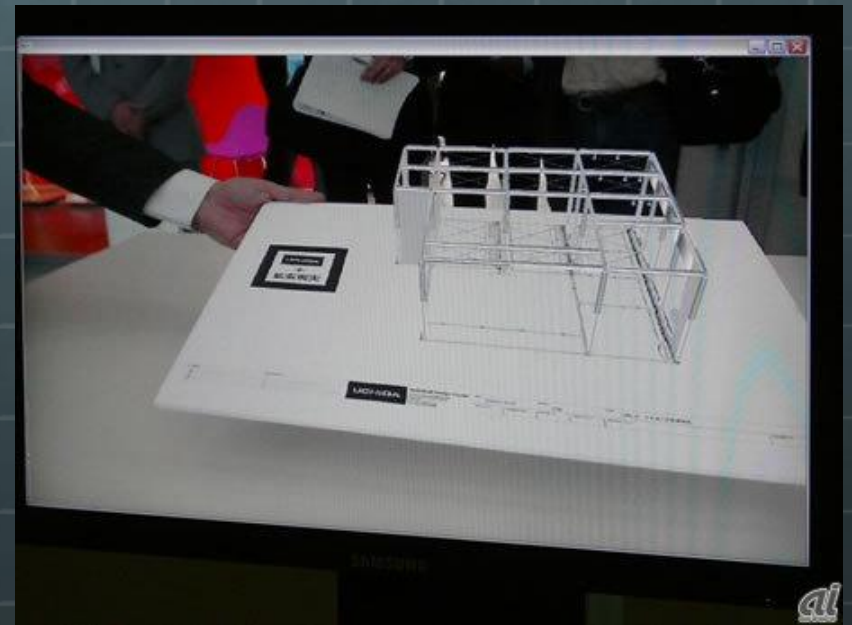
<http://www.atmarkit.co.jp/news/200809/30/kddi.html>

ARの実例<ソリューション>



内田洋行さんのソリューション

オフィスプレゼン、教育、会議にARを活用



Zdnet Japan siteより引用

(<http://japan.zdnet.com/news/ir/story/0,2000056187,20402858-14,00.htm>)

ARの実例<ソリューション>



pin@clip



東京急行電鉄さんとNECさん、国立情報学研究所さん、
東急エージェンシーさんによる実証実験



地域情報共有サービス



iPhoneアプリを利用

pin@clip

<http://pinaclip.jp/index.html>

ARの実例<ソリューション>

Wikitude Drive

 現実映像と重ね合わせを行うカーナビ



You Tube

http://www.youtube.com/watch?v=g-ocuqeUvCQ&feature=player_embedded

現時点のARのポジション

- 広告・エンターテインメントを中心とした活用
 - 情報共有ツール
 - pin@clip、セカイカメラ
 - ゲーム
 - ニンテンドーDSのゲーム
 - スマートフォンのゲーム

AR活用の背景

- 実現するために必要なデバイス性能が一般化
 - 各種センサー、GPS、映像、が簡単に利用できる
 - 加速度センサー、傾きセンサー、
 - 位置情報系のAR
 - カメラ搭載
 - ビジョンベースのAR
- グラフィック処理の向上
 - スマートフォン/タブレット上でPC並みのグラフィック



AR活用の背景

- 画像処理ロジックの一般化
 - オープンソース画像処理ソフトの普及
 - OpenCV、ARToolkit
- クラウド利用
 - 従来のデバイス単体での情報保有量を大きく上回る情報が利用できる

今後の方向性

- 娯楽手段からより普遍化した当たり前の技術へ
 - 研究→軍事利用→エンターテインメント→普遍化
- 情報活用もシフトする
 - 紙→Web (Virtual) →クラウド (Virtualの強化)
→AR (VirtualによるRealの強化)
- ARをより普遍化してビジネスに活用
 - ARという手段に対してクラウドとデバイスの協調がカギ

多様な活用シーン

- 医療、観光やナビゲーション分野では、ますます利用が進む
- 防災・災害対策支援
 - 避難指示、災害予兆の視覚化、天気予報
- 救護支援
 - AEDとの併設（一般市民による救護支援）
- 生活支援
 - ケアサービスの支援、障害者支援（目・耳の代わり等）
- 労働支援
 - 実務指導、見えないものの可視化（電波の方向など）
- 業務支援
 - プレゼンテーション、市場調査ツール

AITCとしての取り組み

- 公益性のある手段としての活用とビジネスツールとしての活用を提案する活動を計画中
- ARセミナー開催
 - 4月14日に第1回を開催
 - 5月にも公開セミナー開催を予定

→情報交換・意識あわせへ経て、部会の立ち上げへ



PixelOpics